みなさんの担任の先生のお言葉集

3 年生の時の担任の先生からのお言葉を集めました。

●Vol.5　H25 年 11 月発行同期会通信より

「元気です!!!」（お世話になった先生に寄稿していただきました）

今回は、高校時代に大変お世話になった元 10 組担任で英語教諭の今畑先生に、「ぜひ同期の皆さんにメッセージをお願いします」とお願いをしたところ、快くメッセージを寄せていただきました。

あの頃と変わらない、熱く温かいお言葉が心に響きます。今畑先生、お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。（下の写真は、今回の寄稿の取材の際に、赤間会長や広報委員会等の 40 期の同級生に囲まれている今畑先生）

【今畑先生のお言葉】

嘉穂高校第 40 期生の皆さん、こんにちは。3 年 10 組担任の今畑です。

「こんにちは」と言うにはあまりにも長い時間が過ぎていて、思いが十分に表せないけど、本当に久しぶり！みんな元気でやってましたか？

先日、ありがたいことに、赤間実行委員会会長や広報委員会の皆さんなどから声をかけていただき、数人で一杯やりながら、あの頃に戻ったような夢のようなひと時を過ごしました。本当に楽しくてうれしかった。

あれから確実に 25 年の月日が流れ、赤間君はじめみんな中年若人（僕は高齢若人）としてはしゃいでいました。仲が良くて見事なチームワーク。きっと来年の同窓会総会もすばらしいものに仕上げていくんだろうなと頼もしい限りでした。

私にも高校時代からの悪友たち（通常、親愛の情をこめてこう表現しますが、僕の場合は文字通り悪友たち）がいて、えっ、また？というぐらい、示し合わせては一杯やっています。

いつも同じメンバー、同じ思い出話、同じタイミングで同じ笑い声・・・。それでも飽きずに集まっては、あの時代に戻って無理やり若返っているようなものです。でも、いいもんだよね、同窓生が集まるっていうのは。

赤間君たちとあった時もそうだった。みんなの生徒の頃の声や表情を思い浮かべながら、スーツの端っこを引っ張って黒板に象形文字を書いていた、まさにあの頃の僕に戻っていた。ちょっと恥ずかしくて体裁悪いけど、あの頃が私の青春だったような・・・。

40 期の皆さん、これから準備、そして来年の総会本番。いろいろあるでしょうね。大変だと思う。でもその一つ一つが、集まる全ての人たちと君たち自身に喜びをもたらすことになる。力を合わせてやり遂げてください。そして、当日は一人でも多く、それぞれのあの頃に会いにおいでよ、いいね。

●Vol.6　H26 年 6 月発行同期会通信より

「元気です!!!」（お世話になった先生に寄稿していただきました）

２月２６日（水）に、３年８組の担任だった茶園美由記先生に、「すし処あり吉」（40 期同級生の有吉（旧姓：光原、元１組）こずえさんがご主人と経営されています。福岡市東区香椎 1-22-7 第１並木ビル　１Ｆ）にて、広報委員会委員４名と赤間会長の５人がお会いしました。

寄せていただいたメッセージに胸が熱くなります。茶園先生、お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

【茶園先生のお言葉】

第 40 期生の皆さん、3 年 8 組の女クラの担任、茶園です。

26 年ぶりに、教え子の師岡さんから連絡をいただき、成長した
皆さんの立派な姿に接して、嬉しく涙が出そうなくらい感激しました。

私は現在、仕事もやめ、家事やその他のささやかなことで毎日を送っています。

嘉穂高にいた頃は、「熱い」生徒さん達に刺激を受けて、無我夢中で突っ走っていた気がします。私生活でもちょうど子育て中で、公私とも毎日が時間との闘いでした。今振り返って考えてみると、がむしゃらに日々を送っていたあの頃が、61 歳になってしまった私にとっては、キラキラ輝く青春そのものでした。

女クラのみんなとセーラー服姿で合唱コンクールに出て、歌ったことは一生忘れないすてきな想い出です。

今年は 40 期の皆さんがいよいよ当番となる、大同窓会が開かれます。たくさんの同窓生が集まってくださることを願っています。そして、女クラをはじめとして、多くの生徒さんに是非お会いしたいと思っています。

あの頃は、皆さんの一人一人が主役でした。人生の折り返し点（？）にさしかかった皆さんの手で、もう一度主役の座を握りしめてみませんか。還暦過ぎのおばあさんの私も、負けずに主役を張り合いたいものです。

永遠に「熱い」青春の気概を持ち続けられる人は、きっと一生現役に違いありません。

26 年の空白後に再会した夜、若者達のあたたかい言葉に触れた私は、そぼ降る雨の中で一人帰る道すがら、堪えきれずに思わず涙しました。それはまちがいなく、甘酸っぱい青春の涙だと確信しています。

皆さんとの再会を楽しみにしています。

●H26. 6. 21 面談

「元気です!!!」（お世話になった先生に寄稿していただきました）

６月２１日（金）、３年５組の担任だった松岡教知先生に、広報委員会委員３名がお会いしました。

私たちが知らないところでご尽力いただいていたことや、今の
私たちにとって有意義なお話をお聞きすることが出来ました。

松岡先生、お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

以下は、先生とお話しした内容の抜粋です。

【松岡先生のお言葉（Q&A形式）】

●現在はどのような生活をされていますか？

現在 69 歳になっており、仕事も引退している。
嘉麻市内の自宅でのんびりと悠々自適な生活を送っている。

●嘉穂高校赴任当時はどのような状況でしたか？

今畑先生と一緒に嘉穂高校に赴任したのが、40 期が入学した年で、その頃は４０歳ぐらいだった。当時の嘉穂高校は大学の進学率など良いとは言えない状況であった。うまく指導をしていけば、もっと多くの生徒が高校入学当時の良い成績を維持して、希望の大学に進学できるはずなのにもったいないと思っていた。嘉穂高校出身の生徒はリーダーの素質を持っているし、もっとやれるはずだと思っていた。飯塚市だけではなくて、筑豊地域のリーダーの高校として地域の教育水準を高めていく必要があると強く感じていた。

●当時、生徒にどのようなことはよく話していましたか？

１年生の夏休みまでに死に物狂いで勉強するようにと言っていた。この時期をしっかり勉強して過ごすことで、その後の勉強や受験の際には大きく違ってくるので、しっかり指導した。それは先生としての責務と思っていた。また、先輩から「ニコポン」方式の指導方法を教えてもらって、自分もニコッと笑って肩をポンと叩くような指導方法に努めていた。

●嘉穂高校勤務時に力を注いだことは何ですか？

生徒への教育や指導はもちろんだが、学校内部の体制づくり、教育環境づくりに、特に力を注いでいた。伝統のある高校の教育や生徒指導方法を変えていくことには、教員間でも意見の相違があってかなり苦心した。いろいろ提案したが当初は反対されてばかりで、なかなか受け入れてもらえなかったが、少しずつ少しずつ改革していった（課外授業の受講義務化や服装検査の強化などもこれらの改善の一部ということ）。教師がきちんと生徒に指導してあげないといけないと思っていた。40 期は嘉穂高校での初めての担任だったので、特に力を注いでいたが、後輩たちにもそれらが引き継がれて良い成績を収めるようになった。

●40 期に関することで、特に記憶に残っていることは何ですか？

大将陣公園での遠足だったと思うが、理由は覚えていないが、三嶋君が怒られていたことをなぜかよく覚えている。高市君も印象深い。生徒は大体みんな顔を覚えている。男はあまり変わってないが、女は印象が変わった人が多いと感じる。

●現在の 40 期へのメッセージ。

自分が 45 歳の時は一番元気で、人に頼らず自分で仕事をしていた。40 歳代半ばはしっかりと仕事をしてほしい。年を重ねた時に、あの時もっとやっておけばよかったと思うことのないように、悔いのないように頑張ってほしい。自分なりにやればいいと思う。自分は仕事でできることはやったので思い残すような、悔いが残るようなことはない。ま

た、先輩の知恵はすごい。「「寄らば大樹の陰」というが大樹を見つけておかないと自分一人ではできない。自分のとって優れた大樹を選ばないといけない。大樹のような先輩の話が自分を進むべき方向へ導いてくれる。そしてこれからは自分達が大樹になってほしい。